

牧場仕立ての新鮮な
“ロケット燃料”です。

小型ロケットの燃料として活用が期待される「液化バイオメタン」。
その原料はなんと、北海道で飼育されている牛たちのふん尿です。

カーボンニュートラルな再生可能エネルギーである
液化バイオメタンの製造をはじめとして、
わたしたちエア・ウォーターは
「地球の恵みを、社会の望みに。」という
パーパスの実現のために、
さまざまな社会課題の
解決に挑戦し続けます。

地球の恵みを、社会の望みに。
エア・ウォーター

社会インフラや
産業を支えている
あなたを守るために。

私たちの暮らしや社会を守るために働く皆さまの、
「安全・安心」をお守りすることが理研計器の使命です。
私たちは、より高度な安全と安心のために、
検知性能はもちろん、サイズや操作性、
堅牢性など様々な視点で技術革新を推進しています。
すべては、社会や産業を支えるあなたを守るために。

様々な分野と作業現場で活躍するガス検知器

NEW

半導体工場向け
定置型ガス検知器
GD-81D型

半導体工場向け
マルチガス検知器
GD-84D型

ポータブル型
6成分ガス検知器
GX-6100型

ポータブル型
ガスリーク検知器
SP-230型

ポータブル型
6成分ガス検知器
GX-9000型

ポータブル型
5成分/4成分ガス検知器
GX-3R Pro型 / GX-3R型

スマートタイプ
ガス検知器
SD-1型

防爆型熱量計
OHC-800型

理研計器株式会社
Riken Keiki

本 社 〒174-8744 東京都板橋区小豆沢2-7-6
営業本部 TEL 0570-001939 FAX (03) 3558-0043
ホームページ <https://www.rikenkeiki.co.jp/>
詳しくは 理研計器 で検索

産業ガス & ガス発生装置

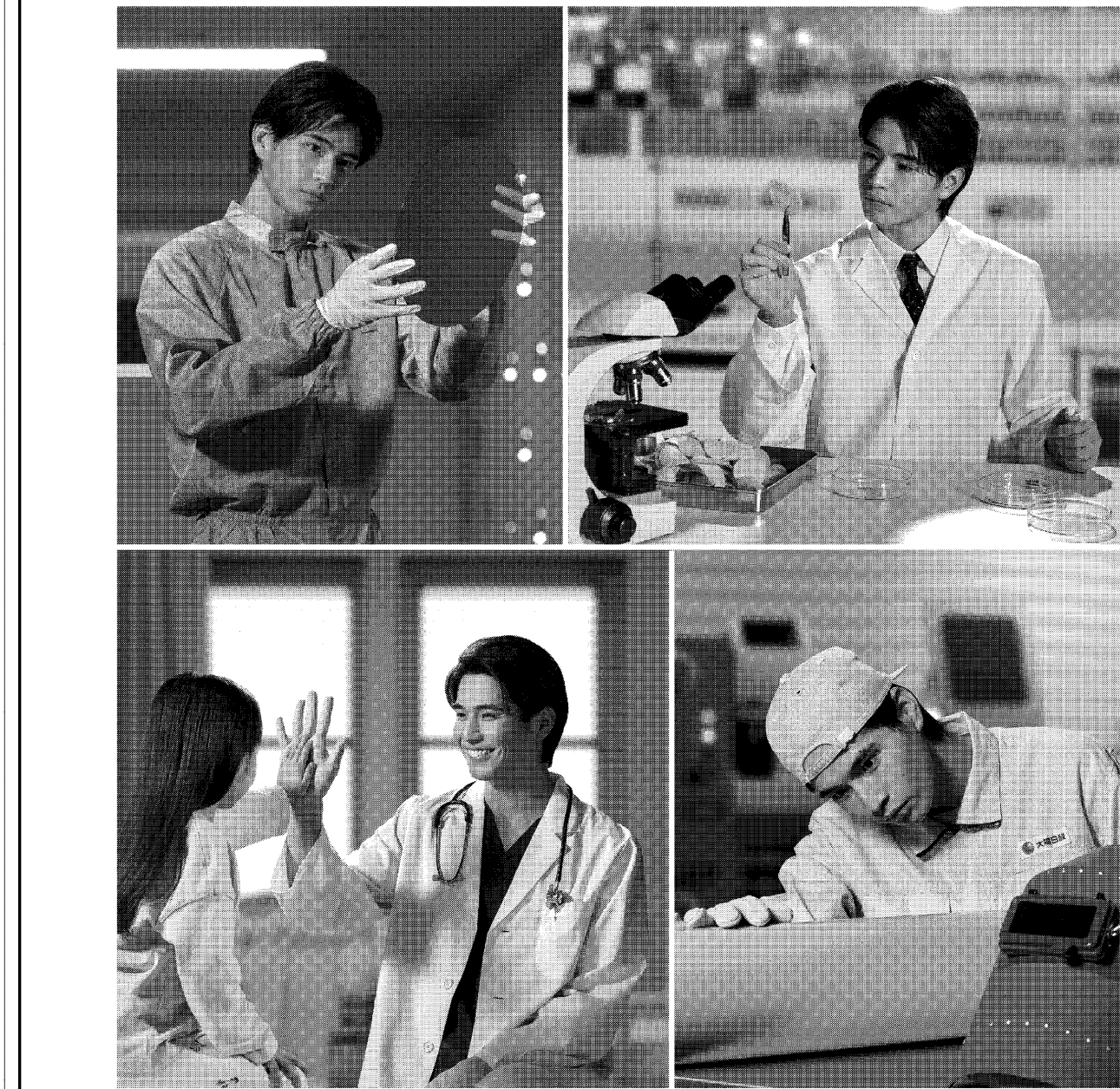
モノづくりを支え
未来の価値育む

産業ガスは主にモノづくりの現場において原料や製造の雰囲気ガスとして用いられていける。酸素、酸素として単体で用いられるもの、燃料や化学工業における酸化剤として使われる。水素は石油精製時の混合して機能性を高め、鉄鋼業では高純度の酸素を溶かし、半導体製造の効率化に不可欠。さらに、産業ガスの拡大に向け、エレクトロニクス事業の拡大に向け、革新的な新製品・技術の創出に向けた開発体制の構築を進めている。大陽日酸のつくば開発センター（茨城県つくば市）に「エレクトロニクス先端材料開発棟」を新設し、新たなプロセス材料とそのハンドリング技術の確立を目指している。新棟は2027年3月の完成を予定している。半導体工場向けの機器では、メンテナンスの負担を減らし、生産性向上に寄与する製品が注目を集めている。理研計器は最大2種類のガスを同時に検知できる半導体工場向けの定置型ガス検知器「GD-81Dシリーズ」を開発した。1種類のガスを検知する従来機と管径サイズが同じため設置面積が1台分で済む省スペースを実現している。1成分型、2成分型を合わせて450種類のガス検知センサユニットを取り付け可能で、警報発生時にはウェブブラウザから漏洩ガスの種類や場所、濃度を遠隔で確認し、迅速に対応できる。更新や増設も容易に行える。国内半導体工場への拡販のほか、海外半導体工場にも提案していく。

成長市場の開拓に力

酸素、酸素、アルゴン、水素といった産業ガスは、モノづくり産業を支えるインフラとして、製開発から製造、品質管理、設備保全に至るさまざまな分野で利用されている。自動車や機械、金属加工の分野では切断・溶接、熱処理などに酸素や窒素、アルゴンなどが用いられ、鉄鋼や化学産業では酸素が広く活用されている。需要は半導体向けの復調で総じて底堅さを維持しているものの、カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）社会への転換を目指す取り組みが世界規模で進む中、主要産業ガス会社はこれに貢献する技術開発のほか、成長市場の開拓に力を入れている。水素を活用した新たな事業の拡大への動きも広がっている。

ガス未来、その一歩先へ
Our Future, Take one step
東邦アセチレン株式会社
代表取締役社長 堀内 秀敏
本 社 〒985-0833 宮城県多賀城市栄二丁目3番32号
TEL:022-366-6110 FAX:022-366-6170 <https://www.toho-ace.co.jp/>



たとえば、
いのちをつなぐための、酸素。
鮮度を保つための、窒素。
半導体づくりや溶接に欠かせない、アルゴン。
これはぜんぶ、どこにでもある
空気を原材料にした
産業に欠かせないガスなんです。
大陽日酸は、そんな当たり前にある空気で、
産業の可能性を広げてきました。
私たちはこれからも、
産業ガストップシェアの
リーディングカンパニーとして、
あかるい社会の実現に取り組んでいきます。

ガスの力で、
未来を照らせ。



大陽日酸株式会社
日本酸素ホールディングスグループ

2026年4月1日から大陽日酸は
「日本酸素」へ社名が変わります



ものづくりを支えて

120周年

みなさまに支えられて

鈴木商館は、2025年に創業120周年を迎えました

詳しくはこちらから



★鈴木商館



Iwatani

水素で世界を動かせ。

燃焼してもCO₂を排出せず、大きなパワーを生み、枯渇しない水素。

2050年、温暖化ガス排出実質ゼロ社会の実現を目指して。水素で、もっと社会を、時代を、世界を動かせ。



日本には、未来を変えるエネルギーがある。

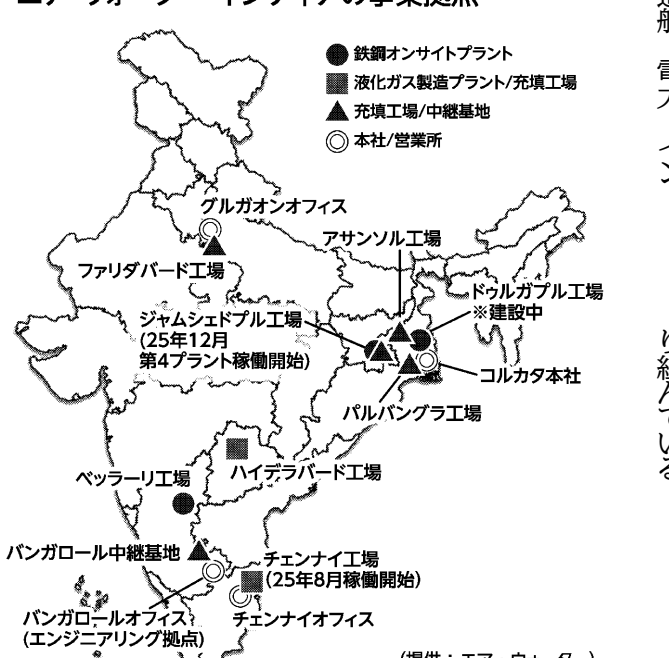
水素シェア No.1*

Iwatani

岩谷産業株式会社

*岩谷産業株式会社は、水素の販売において国内市場シェア約70%を占めています。（オンサイト・バイピングを除く。2025年5月現在、自社調べ）

エア・ウォーター・インドの事業拠点



● 鉄鋼オンサイトプラント
■ 液化ガス製造プラント/充填工場
▲ 充填工場/中継基地
◎ 本社/営業所

グルガオンオフィス
ファリダバード工場
アサンソル工場
ジャムシェドプル工場
(25年12月第4プラント稼働開始)
パルバングラ工場
ベッラーリ工場
ハイデラバード工場
バンガロール中継基地
バンガロールオフィス
(エンジニアリング拠点)
チェンナイ工場
(25年8月稼働開始)
チェンナイオフィス
(エンジニアリング拠点)

(提供：エア・ウォーター)

インド市場の需要獲得を目指す

インド市場は、東部では造船、電力、インフラなど、北部では自動車関連産業を中心に産業ガス需要が増えている。インド政府による半導体製造・設計拠点へ発展させる取り組みも進展しており、半導体製造に不可欠な窒素を中心とした産業ガス供給インフラ構築の重要性が高まっている。AWはサプライチェーン強化により、これらの需要獲得を目指す。

またAWは、インドのタタ・スチールのジャムシェドプル製鉄所（ジャルカンド州）向けとして、大型の製鋼向けオンサイト産業ガス供給プラントを稼働した。タタ・スチールから同プラントを取得し、20年間の長期運搬保守契約を締結した。1日当たりの酸素生産能力は約1800トン。窒素やアルゴンも生産するほか、液化ガスも併産し、東部・北部エリアのユーザーに供給する。

インド市場は、東部では造船、電力、インフラなど、北部では自動車関連産業を中心に産業ガス需要が増えている。インド政府による半導体製造・設計拠点へ発展させる取り組みも進展しており、半導体製造に不可欠な窒素を中心とした産業ガス供給インフラ構築の重要性が高まっている。AWはサプライチェーン強化により、これらの需要獲得を目指す。

海外でのサプライチェーン拡充

インドのチェンナイ工場の液化ガス製造プラントが稼働（提供：エア・ウォーター）



一方、将来を見据え、海外での産業ガスのサプライチェーン拡充も進んでいる。エア・ウォーター（AW）は25年8月、インド子会社のエア・ウォーター・インド（西ベンガル州）を通じてチェンナイ工場（タミルナド州）内に液化ガス製造プラントを新設・稼働した。これまでベッラーリ工場（カルナータカ州）で製造する産業ガスをチェンナイを含む南部エリアのユーザーに供給してきた。同エリアは自動車関連産業の一大集積地で近年、電気自動車や電子部品関連の工場も数多く立地しており、チェンナイ工場内へのプラント新設により、年々高まるガス需要に対応。チェンナイ周辺の製造業向け産業ガスや医療ガス需要を取り込む。

またAWは、インドのタタ・スチールのジャムシェドプル製鉄所（ジャルカンド州）向けとして、大型の製鋼向けオンサイト産業ガス供給プラントを稼働した。タタ・スチールから同プラントを取得し、20年間の長期運搬保守契約を締結した。1日当たりの酸素生産能力は約1800トン。窒素やアルゴンも生産するほか、液化ガスも併産し、東部・北部エリアのユーザーに供給する。

低炭素水素製造・供給モデル構築へ

愛知製鋼知多工場向け加熱炉での低炭素水素の活用が先。素を活用することで、経済産業省の温室効果ガス（GHG）削減率に貢献し、鋼材「グリーン鋼」の製造に貢献する。この案件では2000トンの水素を製造し、同工場の加熱炉に供給する。AWは、この水素の製造・供給のモデルを構築し、他の製造業にも展開していく。

またAWは、インドのタタ・スチールのジャムシェドプル製鉄所（ジャルカンド州）向けとして、大型の製鋼向けオンサイト産業ガス供給プラントを稼働した。タタ・スチールから同プラントを取得し、20年間の長期運搬保守契約を締結した。1日当たりの酸素生産能力は約1800トン。窒素やアルゴンも生産するほか、液化ガスも併産し、東部・北部エリアのユーザーに供給する。

主要産業ガス、今年度上期 出荷堅調

2025年度上期は半導体製造向けの出荷が堅調で、主要産業ガスの出荷は総じて堅調だった。中には一部高炉の停止などに伴うガス供給量の減少がみられたものの、生成AI向け半導体の好調な需要や、半導体メーカーの設備投資の増加に支えられ、全体では底堅く推移している。

日本産業・医療ガス協会（JIMGA）の調べによると、25年度上期（25年4～9月）の主要産業ガスの販売量（液化、パイプ圧送、ボンベ詰の合計）は、窒素が前年同期比2%増の26億5443万立方メートル、酸素も同2%増の7億2078万立方メートル、アルゴンは同微減の9418万立方メートルだった。窒素は23年度上期（23年4～9月）以降、5半期連続で前年同期比プラス。酸素は22年度下期（22年10月～23年3月）以降、6半期連続で8億立方メートルを下回っている。アルゴンは22年度下期（同）以来、6半期連続で前年同期比で減少している。

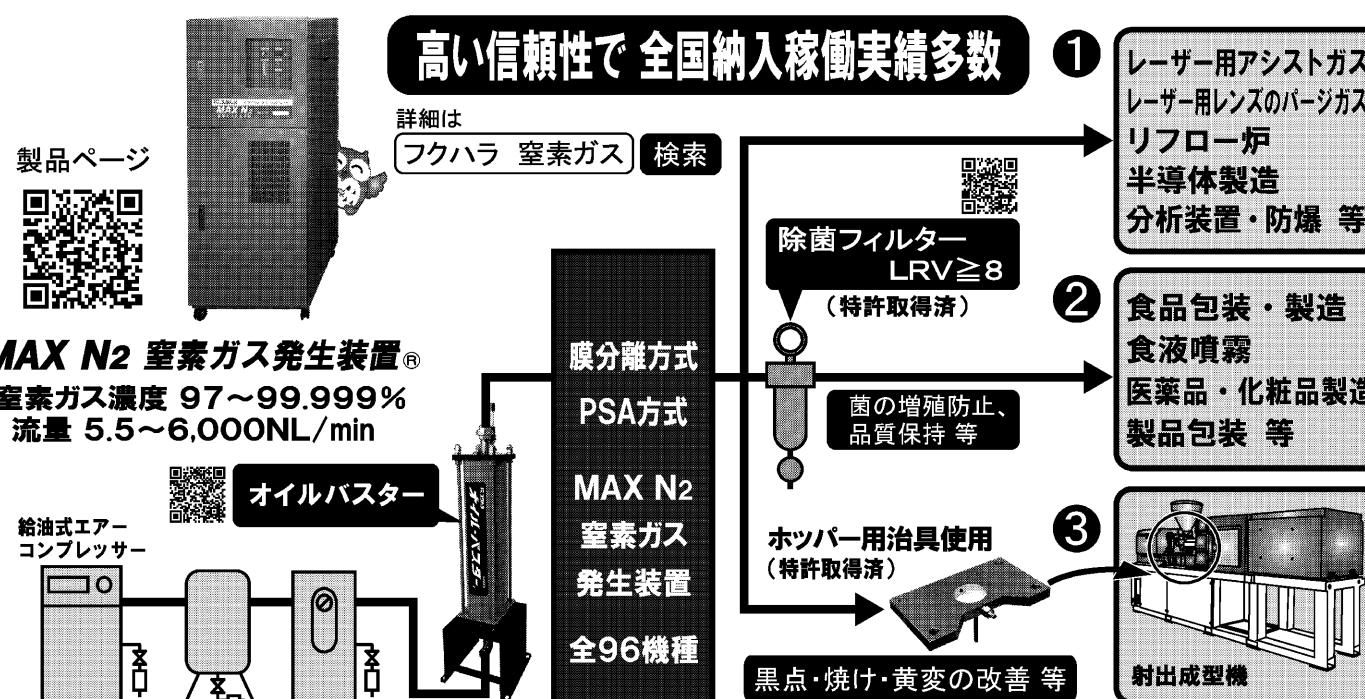
半導体製造向け復調

2025年度上期は半導体製造向けの出荷が堅調で、主要産業ガスの出荷は総じて堅調だった。中には一部高炉の停止などに伴うガス供給量の減少がみられたものの、生成AI向け半導体の好調な需要や、半導体メーカーの設備投資の増加に支えられ、全体では底堅く推移している。

日本産業・医療ガス協会（JIMGA）の調べによると、25年度上期（25年4～9月）の主要産業ガスの販売量（液化、パイプ圧送、ボンベ詰の合計）は、窒素が前年同期比2%増の26億5443万立方メートル、酸素も同2%増の7億2078万立方メートル、アルゴンは同微減の9418万立方メートルだった。窒素は23年度上期（23年4～9月）以降、5半期連続で前年同期比プラス。酸素は22年度下期（22年10月～23年3月）以降、6半期連続で8億立方メートルを下回っている。アルゴンは22年度下期（同）以来、6半期連続で前年同期比で減少している。

MAX N₂ 窒素ガス発生装置®

圧縮空気（コンプレッサー）を接続するだけで、窒素ガス濃度97～99.999%の窒素ガスが得られます。



高い信頼性で全国納入稼働実績多数

詳細は [フクハラ 窒素ガス](#) 検索

製品ページ 

MAX N₂ 窒素ガス発生装置®
窒素ガス濃度 97～99.999%
流量 5.5～6,000NL/min

膜分離方式
PSA方式
MAX N₂ 窒素ガス発生装置
全96機種

① レーザー用アシストガス
レーザー用レンズのバースガス
リフロー炉
半導体製造
分析装置・防爆 等

② 食品包装・製造
食液噴霧
医薬品・化粧品製造
製品包装 等

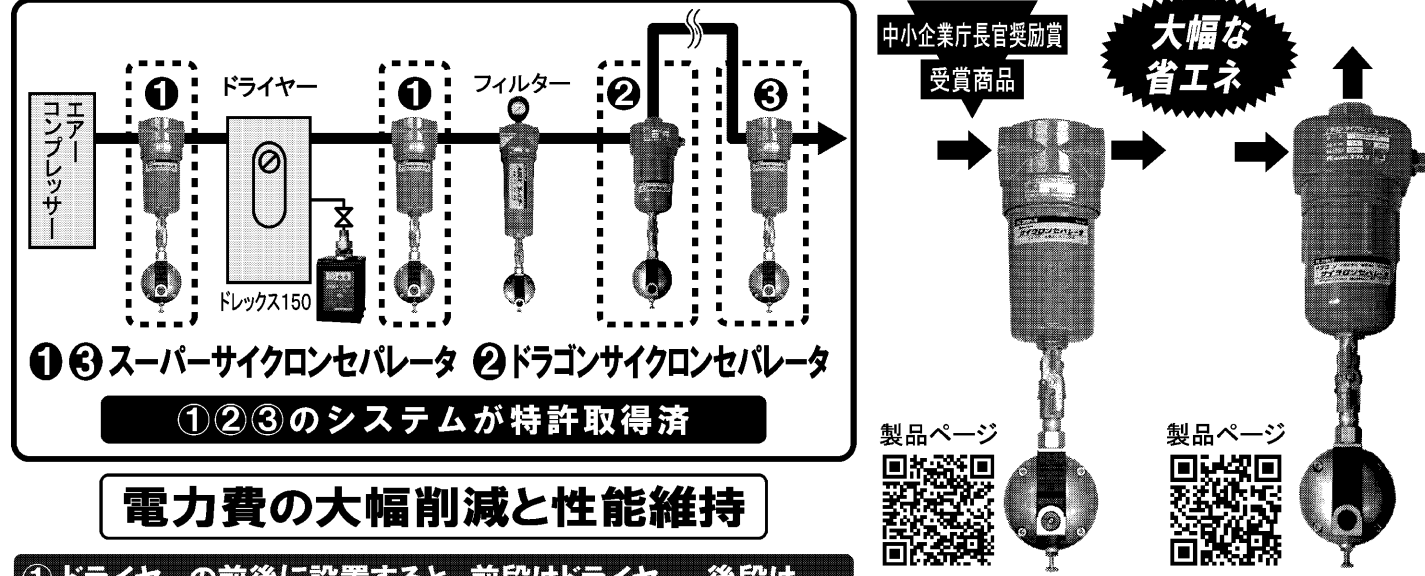
③ ホッパ用治具使用
(特許取得済)
黒点・焼け・黄変の改善 等

射出成型機

● オイルバスターは国際的認証機関TÜV（テュフ）オイルミスト濃度「クラス0」システム認証取得。
● 省エネに優れた 給油式コンプレッサーに取り付けられ、オイルフリー並みのクリーンエアが安価に得られます。
● 油分をほぼ完全に除去しますので、窒素ガス発生装置の寿命を延ばし、窒素ガス濃度を維持します。

配管中に溜まってくる、ドレンをほぼ完全に除去し、省エネに貢献します

ドラゴンサイクロンセパレータ



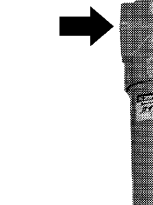
①②③のシステムが特許取得済

電力費の大幅削減と性能維持

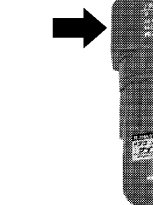
① ドライヤーの前後に設置すると、前段はドライヤー、後段はフィルターにドレンが流入しないので、省エネにつながります。
② 上り配管にドレンを回しませんので、省エネにつながります。
③ 下り配管からのドレンを水平配管に回しませんので、省エネにつながります。

高い信頼性で全国納入稼働実績多数

詳細は [フクハラ サイクロン](#) 検索 [フクハラ ドレン](#) 検索

製品ページ 

ドラゴンサイクロンセパレータ
SCS型

製品ページ 

ドラゴンサイクロンセパレータ
DCS型

ドレックス 150®
ドライヤー専用 電磁式強力ドレントラップ
● センサー検出でドレン排出。
● エアロスほとんどありません。
● ドレンをトラップ本体に呼び込む機構がありますので、確実に排出ができます。